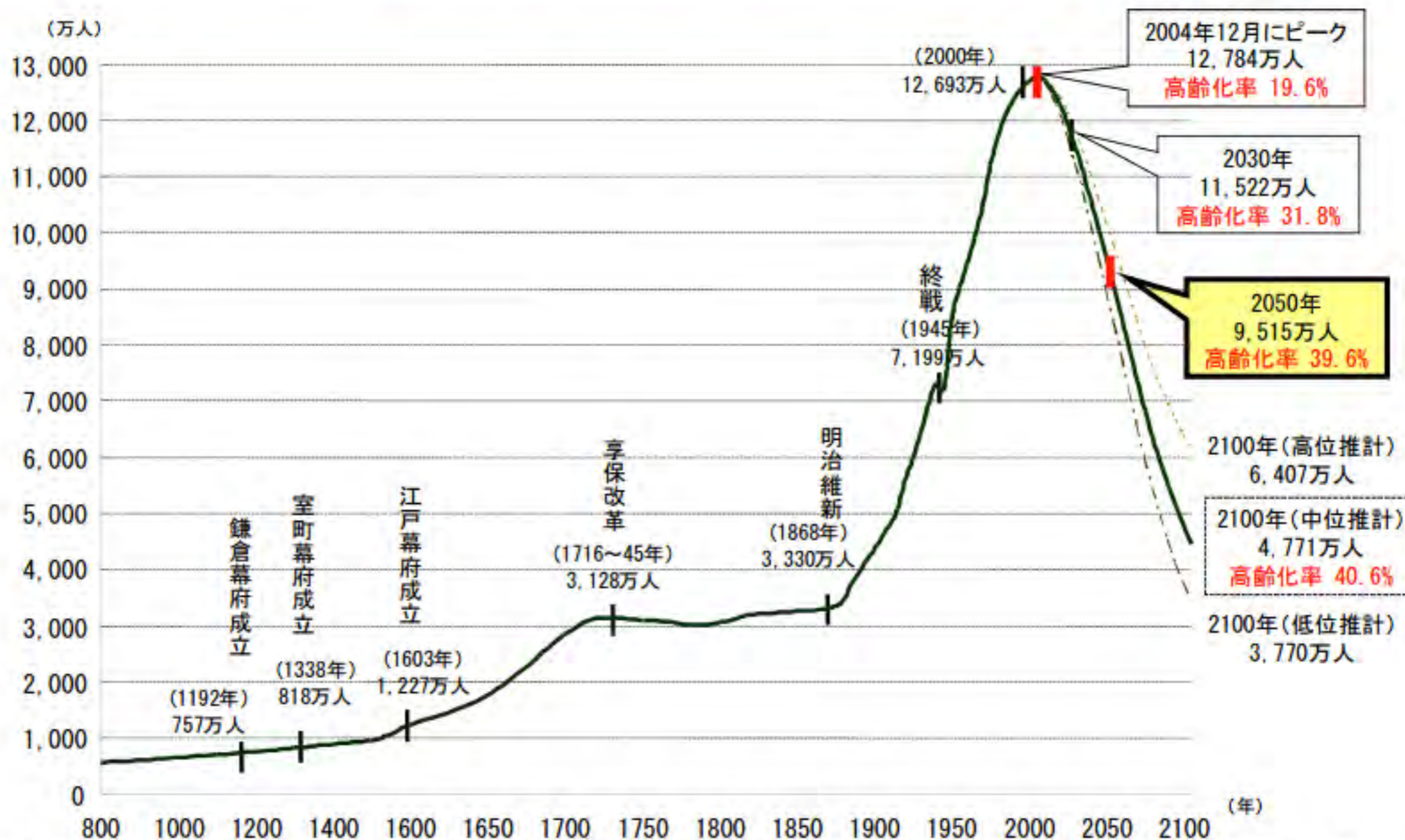


○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。この変化は千年単位でもみても類を見ない、極めて急激な減少。



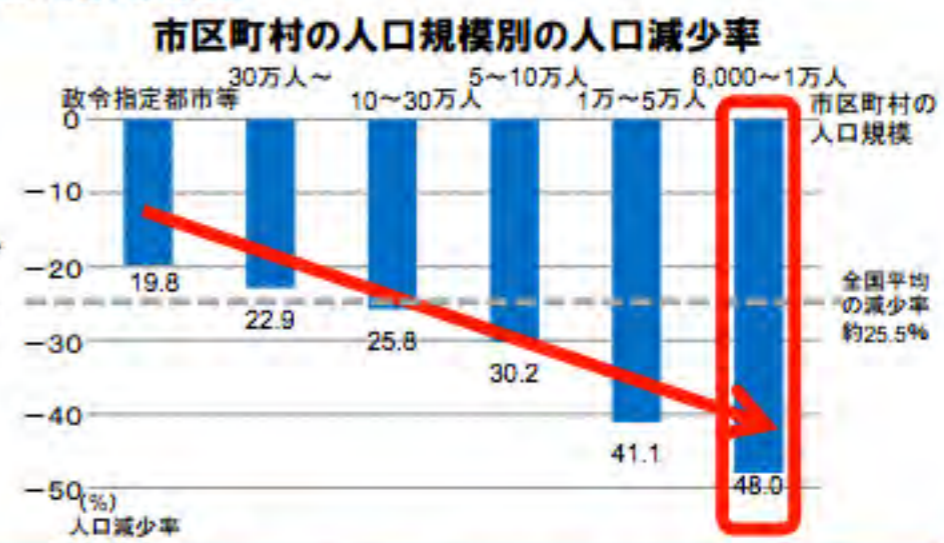
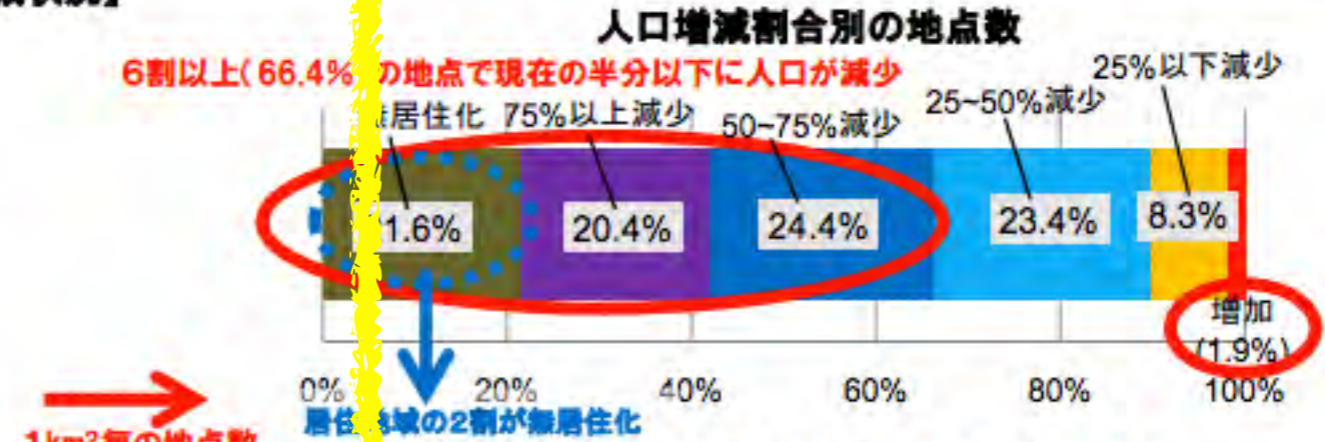
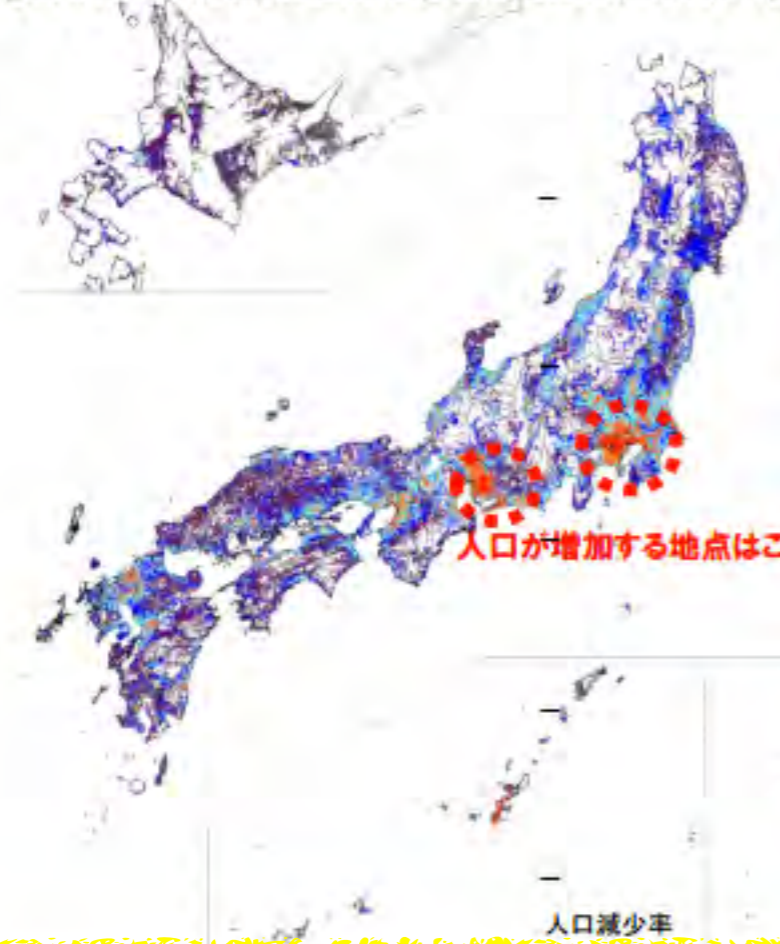
(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

## 平安時代から2050年まで



- 全国を《1km<sup>2</sup>毎の地点》で見ると、全国的な人口減少率(25.5%)を上回って人口が減少する(人口が疎になる)地点が多数となっている。特に**人口が半分以下になる地点が現在の居住地の6割以上**を占める。
- 人口が増加する地点の割合は2%以下であり、東京圏と名古屋圏に多い。**
- 《市区町村の人口規模別》にみると、**人口規模が小さくなるにつれて人口減少率が高くなる傾向**が見られる。また、人口規模が10万人以下の市区町村では、平均の人口減少率が全国平均の25.5%を上回る市区町村が多い。特に現在人口規模が10万人以下の市区町村では、平均の人口減少率が全国平均の25.5%を上回る市区町村が多い。特に現在人口規模が10万人以下の市区町村では、平均の人口減少率が全国平均の25.5%を上回る市区町村が多い。

【図1: 2005年を100とした場合の2050年の人口増減状況】

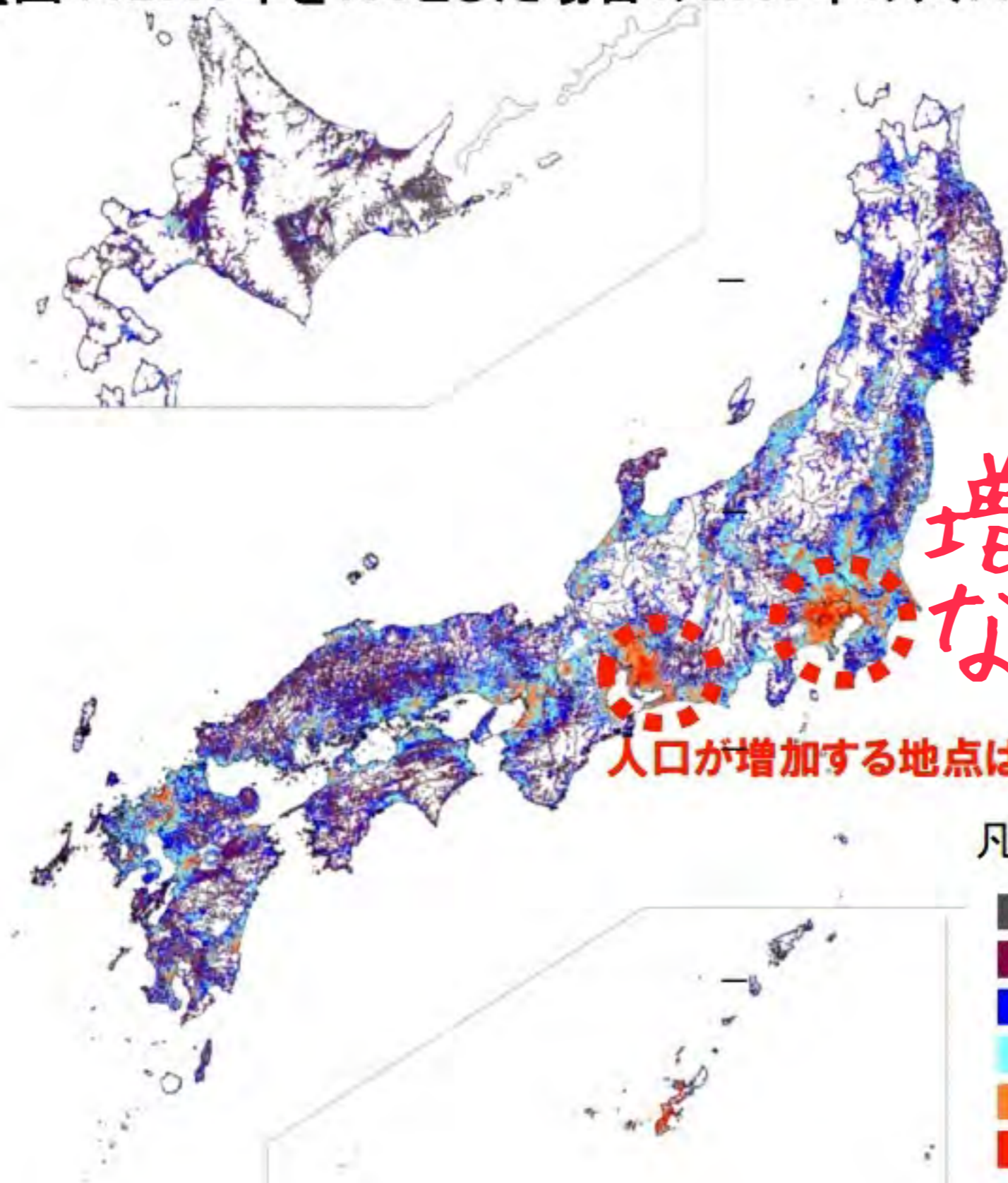


⇒これから生じる人口減少は、国土全体での**人口の低密度化と地域的偏在が同時に進行**するという、これまで経験したことがない新たな現象が進行すると考えられ、そのことにより生じる課題を整理・検討する必要。

2050年には何が起きているか



【図1：2005年を100とした場合の2050年の人口増減状況】



増えるところ  
ないじゃん

人口が増加する地点はごく僅か

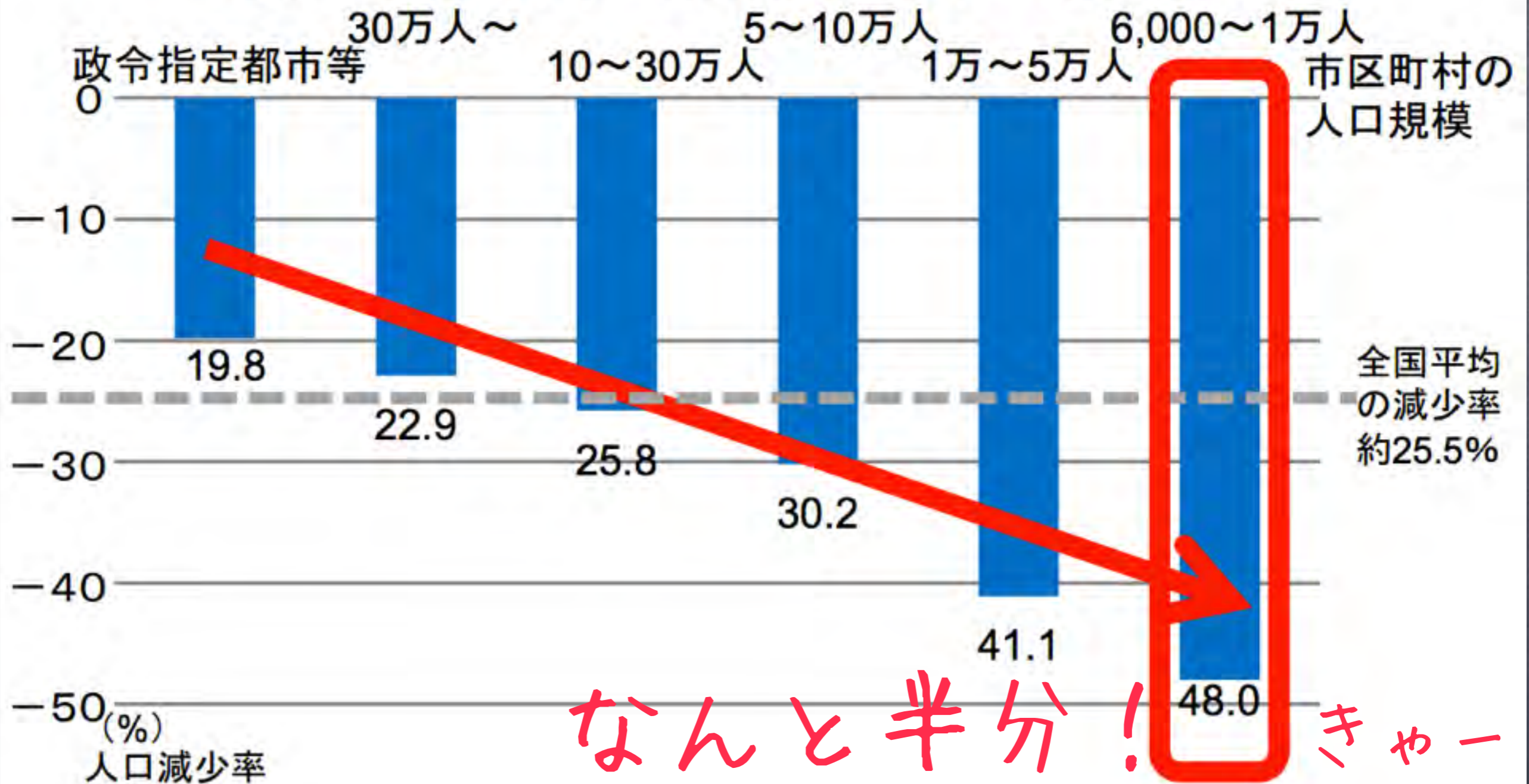
凡例：2005年比での割合

- 無居住化(100%減少)
- 75%以上100%未満減少
- 50%以上75%未満減少
- 25%以上50%未満減少
- 0%以上25%未満減少
- 増加

増えるところはほとんどない



# 市区町村の人口規模別の人口減少率



小さい基礎自治体ほど減る



もういいですよね…



人口は当分の間  
増えないと考えた方がいい



これでもまだ...



人口が増えたらなんとかなるかも

…

なんて思ってる人いませんか？



増えませんか



だって、その増える人達を  
どこから呼んでくれますか？



となり町ですか？

都会の人達ですか？

海外ですか？



万が一、自分の所で"増えても  
よその地域で"減っちゃう



それは、  
幸せなモデルと  
いえるでしょうか？